



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月1日

上場会社名 株式会社キューブシステム 上場取引所 東
コード番号 2335 URL <https://www.cubesystem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 雅洋
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員社長室長 (氏名) 北垣 浩史 TEL 03-5487-6030
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,015	14.2	794	32.7	788	32.6	501	29.1
2023年3月期第2四半期	7,892	△2.1	598	△19.9	594	△21.0	388	△22.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 493百万円 (△10.1%) 2023年3月期第2四半期 548百万円 (△1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.07	—
2023年3月期第2四半期	28.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	13,035	9,684	74.3	638.77
2023年3月期	12,547	9,616	76.6	634.29

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,684百万円 2023年3月期 9,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	23.00	—	27.00	50.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 50周年記念配当 12円00銭
2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 50周年記念配当 12円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	10.3	1,620	11.5	1,635	10.4	1,080	9.1	71.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	15,750,000株	2023年3月期	15,750,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	588,832株	2023年3月期	588,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	15,161,168株	2023年3月期2Q	13,518,041株

(注) 期末発行済株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式（2024年3月期2Q 586,100株、2023年3月期 586,100株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期2Q 586,100株、2023年3月期2Q 599,266株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年11月14日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.cubesystem.co.jp/ir/library/results>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制約がほぼ解消され、ポストコロナにおける社会経済活動が徐々に広がりを見せ、景気は緩やかな改善が続いています。一方で、世界的な資源・原材料価格の高騰にともなう物価の高止まりや地政学的リスクの顕在化等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下において、情報サービス産業では顧客のDX（ビジネス変革・プロセス変革）対応に加え、インボイス制度等の法改正対応により情報化投資需要が増加しております。また、老朽化した基幹システムのクラウドへの移行（Lift）、利便性の向上に向けたシステム構築（Shift）に対するニーズも強く、今後もIT投資は拡大する見通しです。一方で、継続的なIT人材の不足から生じる受注機会の損失や人材獲得競争の激化に起因する人件費の増加により、収益環境が悪化する懸念があります。

当社グループにおきましては、金融分野での新規受注も拡大する中、リソースの最適化や生産体制の確保に努めてまいりました。また、キャリアフィールドに応じた人材育成や経営管理に係る情報化投資等を図り、経営基盤の強化・整備を進めました。こうした活動が実を結び、当第2四半期連結累計期間における業績は売上高9,015百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は794百万円（同32.7%増）、経常利益は788百万円（同32.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は501百万円（同29.1%増）となり、増収増益で推移いたしました。

当四半期では、中長期経営ビジョン《Vision 2026》の実現に向け、ニアショア拠点としての生産体制拡充ならびに事業拡大を目的とし、新たに福岡オフィスを開設いたしました。他拠点でのニアショア開発や当社のエンハンスサービスで培われた経験をもとに、開発及び生産能力の強化と競争力のあるサービス提供を実現するべく取り組んでおります。

また、当社の成長の鍵となる人的資本については、社員一人ひとりが多様なプロフェッショナル人材として活躍するために、新たな人事制度を構築し、2024年4月より制度開始することといたしました。新人事制度では ①キャリアパスにより目標に向けた成長を実感し、その成長が処遇に結びつくこと ②財務・非財務の両面で、プロジェクトや社会の変革をリードする人材に報いるため成果とそれに見合う報酬体系 ③能力に応じて多様なキャリアの選択ができることを掲げております。社員一人ひとりの個々の能力や価値観を尊重し、社員が働きがいを一層実感できる制度・運用を通じて、人的資本の強化を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は9,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産の増加173百万円、現金及び預金の増加146百万円、有価証券の減少100百万円によるものです。また、固定資産合計は3,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加184百万円、敷金及び保証金の増加54百万円によるものです。

これらの結果、総資産は13,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ487百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ399百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の増加133百万円、未払金の増加94百万円、買掛金の増加90百万円によるものです。固定負債は762百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。

これらの結果、負債合計は3,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は9,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は74.3%（前連結会計年度末は76.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

なお、上記の予想は、当社が発表日現在で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,748,203	6,894,229
売掛金及び契約資産	2,702,189	2,875,518
有価証券	100,000	-
仕掛品	10,764	7,870
その他	141,995	155,952
流動資産合計	9,703,153	9,933,570
固定資産		
有形固定資産	124,378	138,819
無形固定資産	3,330	3,330
投資その他の資産		
投資有価証券	1,634,179	1,818,556
退職給付に係る資産	490,358	493,915
その他	592,122	646,925
投資その他の資産合計	2,716,660	2,959,397
固定資産合計	2,844,369	3,101,547
資産合計	12,547,523	13,035,118
負債の部		
流動負債		
買掛金	796,239	886,823
短期借入金	240,000	230,000
未払法人税等	313,954	329,697
賞与引当金	351,565	484,768
役員賞与引当金	8,500	4,998
受注損失引当金	2,291	3,494
その他	476,293	648,341
流動負債合計	2,188,844	2,588,124
固定負債		
株式報酬引当金	332,222	359,134
資産除去債務	139,065	146,335
その他	270,841	257,057
固定負債合計	742,130	762,528
負債合計	2,930,974	3,350,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,400,228	1,400,228
資本剰余金	1,491,474	1,491,474
利益剰余金	6,459,029	6,535,241
自己株式	△503,601	△503,601
株主資本合計	8,847,130	8,923,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509,026	550,473
為替換算調整勘定	30,209	42,155
退職給付に係る調整累計額	230,182	168,493
その他の包括利益累計額合計	769,418	761,123
純資産合計	9,616,548	9,684,466
負債純資産合計	12,547,523	13,035,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,892,164	9,015,239
売上原価	6,241,203	7,055,373
売上総利益	1,650,961	1,959,866
販売費及び一般管理費		
役員賞与引当金繰入額	5,092	4,998
給料及び手当	289,518	293,338
賞与引当金繰入額	66,633	79,329
退職給付費用	13,584	3,773
株式報酬引当金繰入額	35,205	26,912
その他	642,467	757,491
販売費及び一般管理費合計	1,052,501	1,165,842
営業利益	598,459	794,023
営業外収益		
受取利息	1,586	2,599
受取配当金	4,850	4,678
その他	4,099	2,262
営業外収益合計	10,535	9,540
営業外費用		
支払利息	716	651
為替差損	9,282	7,423
投資事業組合運用損	2,766	5,527
その他	1,554	1,554
営業外費用合計	14,319	15,156
経常利益	594,675	788,408
税金等調整前四半期純利益	594,675	788,408
法人税等	206,304	287,019
四半期純利益	388,371	501,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	388,371	501,388

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	388,371	501,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155,192	41,447
為替換算調整勘定	19,908	11,946
退職給付に係る調整額	△15,190	△61,688
その他の包括利益合計	159,910	△8,294
四半期包括利益	548,281	493,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548,281	493,094

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	594,675	788,408
減価償却費	25,444	20,542
引当金の増減額 (△は減少)	85,193	156,669
退職給付に係る資産及び負債の増加額 (△は減少)	△23,794	△92,755
受取利息及び受取配当金	△6,436	△7,277
支払利息	716	651
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,766	5,527
売上債権の増減額 (△は増加)	129,322	△172,180
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,939	3,216
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,803	90,297
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74,548	46,792
未払金の増減額 (△は減少)	△89,818	47,125
未払費用の増減額 (△は減少)	△14,183	60,810
預り金の増減額 (△は減少)	△48,400	△5,149
その他	△27,218	6,868
小計	521,975	949,546
利息及び配当金の受取額	8,155	7,005
利息の支払額	△714	△647
法人税等の支払額	△201,161	△276,484
法人税等の還付額	1,086	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	329,341	679,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△7,776	△16,558
投資有価証券の取得による支出	△139,041	△132,594
投資有価証券の売却による収入	6,396	2,300
敷金及び保証金の差入による支出	-	△54,190
その他	4,295	12,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,126	△88,694
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△10,000
配当金の支払額	△211,170	△424,908
非支配株主への配当金の支払額	△700	-
リース債務の返済による支出	△419	△279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,290	△435,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,200	2,216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,874	157,754
現金及び現金同等物の期首残高	5,015,727	6,703,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,000,853	6,861,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。